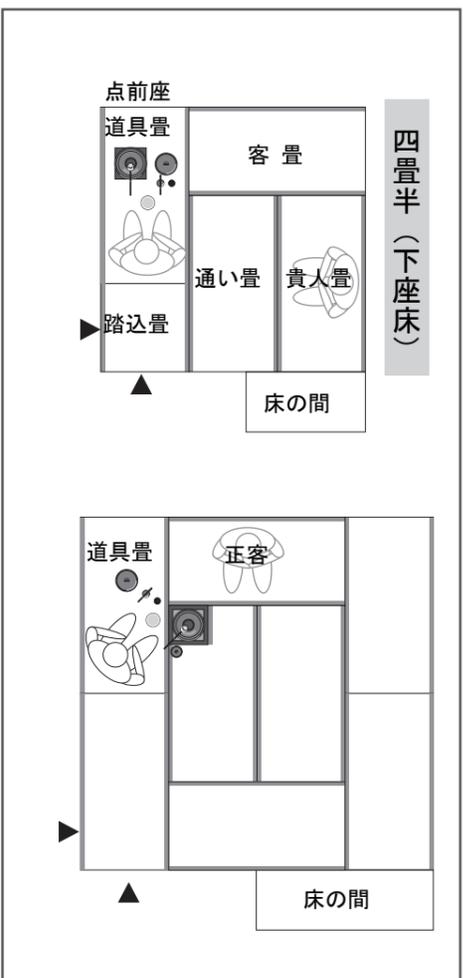
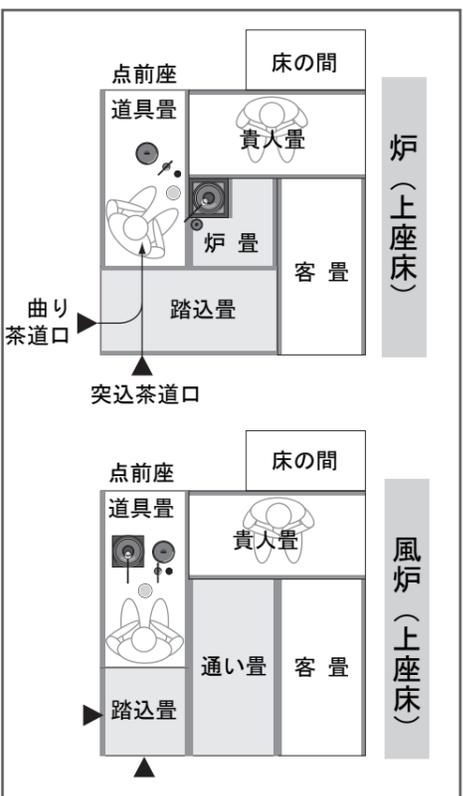


茶室の間取り (三)

畳の名称

茶室の畳は、用途によって名称がついています。
『風炉』『炉』で敷き方が変わる



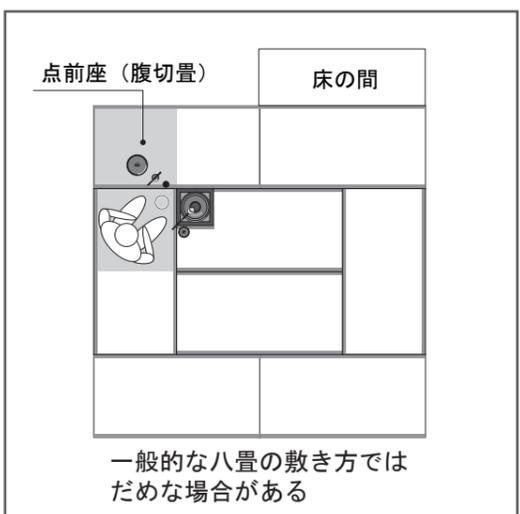
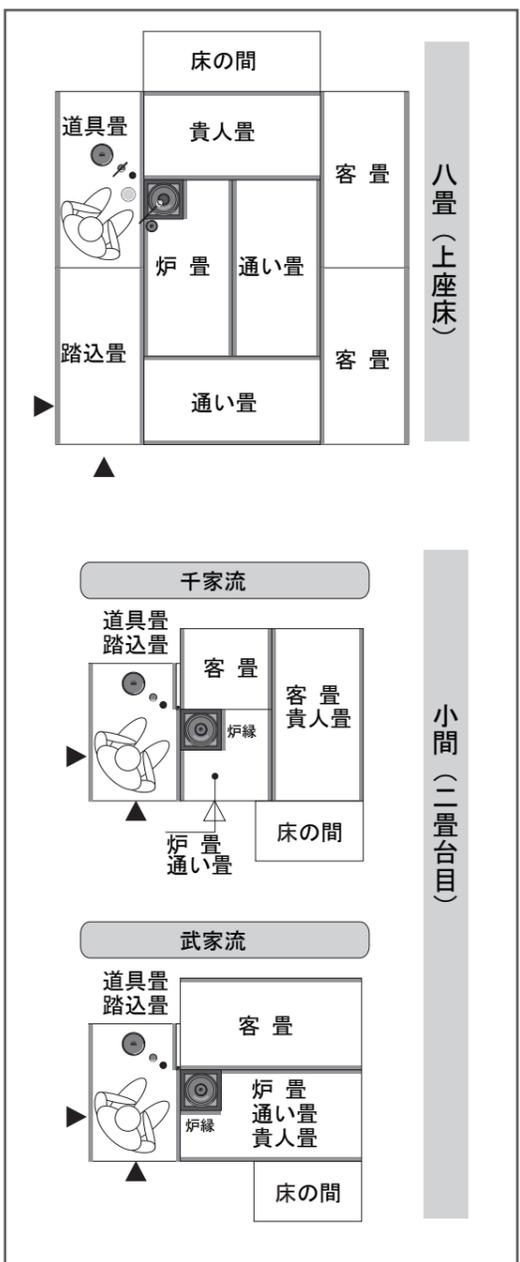
『下座床』は正客の位置が変わる
(床本位と言い、小間の場合)

但し広間は点前座本位で
正客の位置が決まる。

八畳は通い畳、客畳が二枚になる

小間は各々、兼合った畳の名称と成る
小間は千家流と武家流で敷き方が異なる

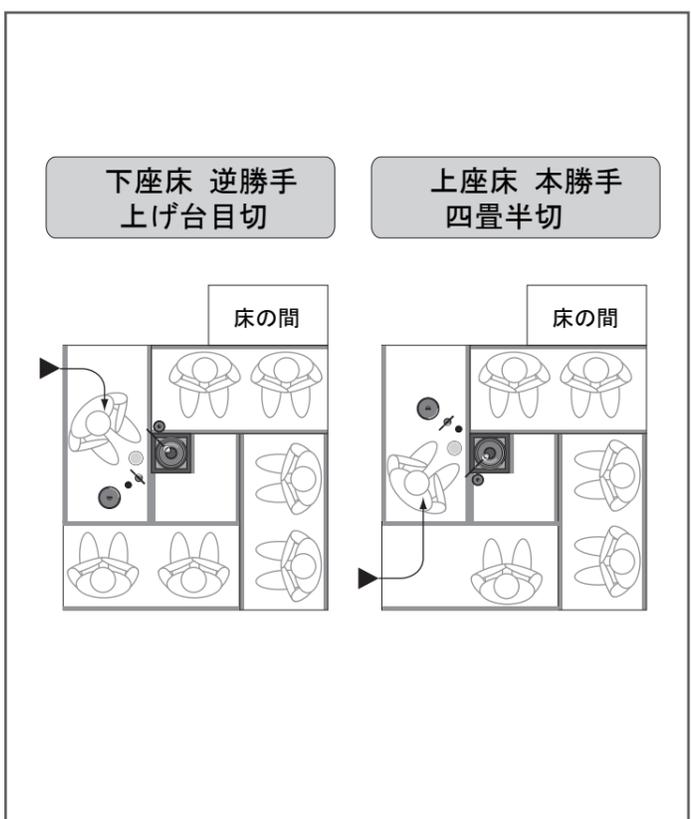
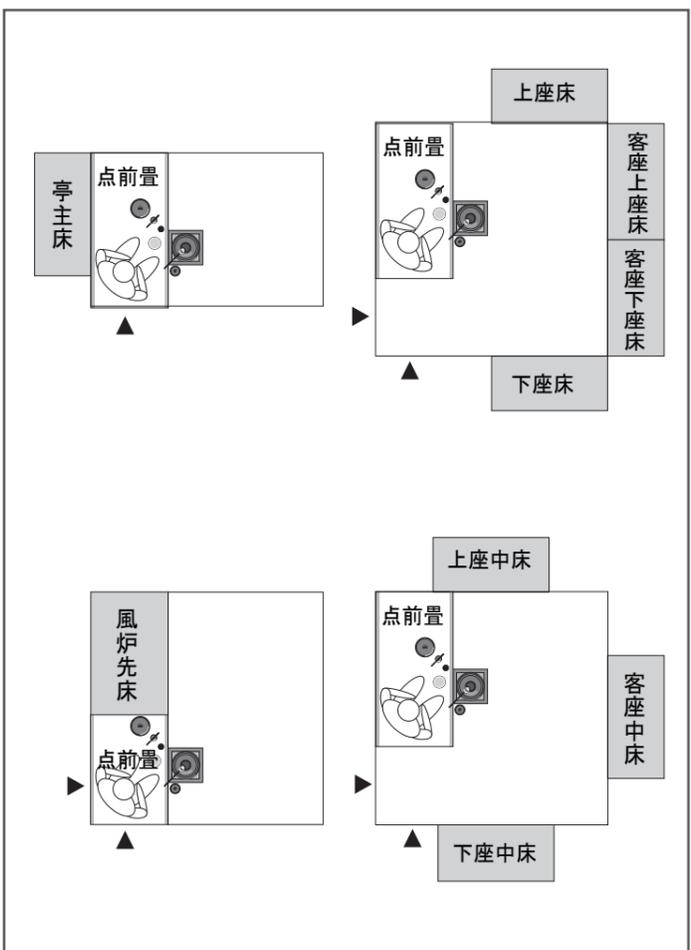
点前座が腹切畳となってしまう形に
畳を敷いてはいけない



一般的な八畳の敷き方では
だめな場合がある

床の間の点前座に対する位置の名称

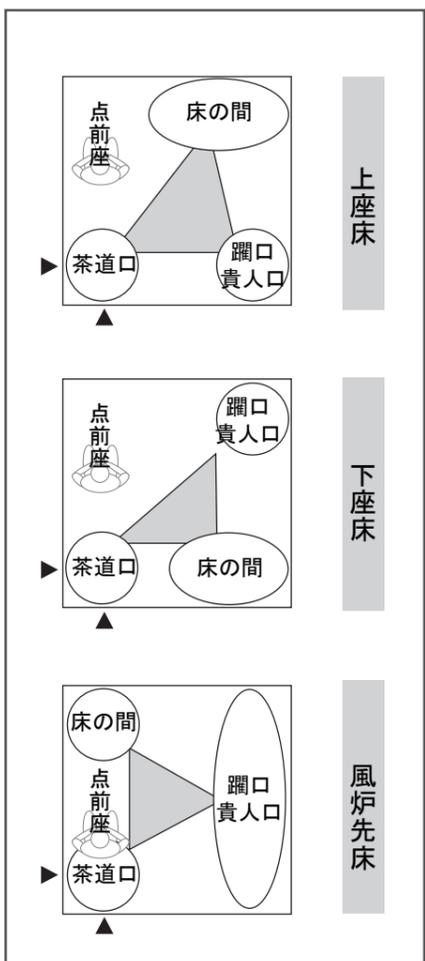
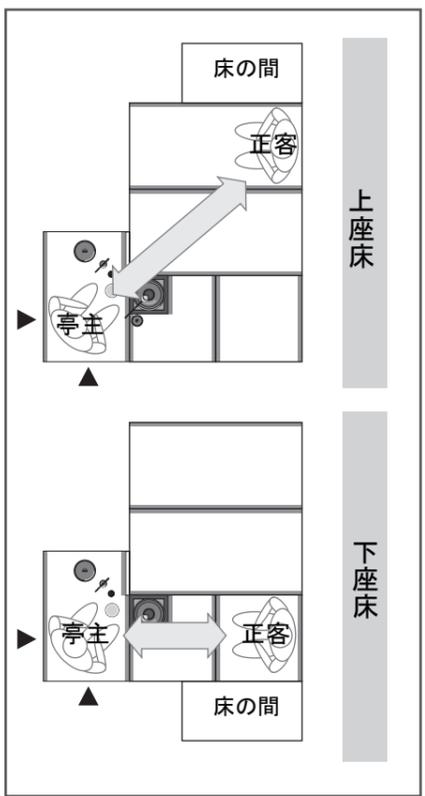
- ・床は手前座との関係で名称が付けられる
- ・上座床／下座床／客座床／亭主床／風炉先床



同じ茶室でも茶道口を変え、点前座を逆に使う事で
違う使い方ができる。

上座床と下座床の亭主との距離

- 正客に対し亭主(点前座)が、へり下った空間
- 正客と亭主が対等 (フレンドリー) な空間



茶道口／床／躡口の基本

- ・茶道口／床／躡口、貴人口は茶室の中で三角にバランス良く配置
- ・客人口から、床の間が見えないことの無いように